

検討の視点 (第1回のご意見から)

- 1 高齢者の実態とこれからの高齢者像
- 2 高齢者介護の基本的考え方
 - (1) 自助と共助
 - (2) 自己決定と選択
 - (3) 自己責任 —健康保持、介護予防、リハビリテーション
 - (4) 自立支援・家族の介護負担の軽減 (介護の目的)
 - (5) 参加・参画
市民・高齢者の介護への参加、計画への参画
- 3 需要 (デマンド) とニーズ
 - (1) ケアマネジメント
デマンドとニーズの区別
 - (2) 介護保険の守備範囲
介護保険で対応するもの
 - (3) 介護保険、市場、ボランティア
それぞれの役割
- 4 地域ケアの確立 (地域におけるケアの総合力の発揮)
 - (1) 在宅サービス、施設サービス、第3のカテゴリー
 - (2) 住宅、まちづくり
 - (3) 生活の継続性
 - (4) 多職種 (保健医療福祉関係者) の連携と協働

- (5) 医療との連続性と連携
- (6) 地域での介護
- (7) 即時対応、臨機応変の対応

5 痴呆性高齢者の介護

6 サービスの質の向上

- (1) 人材の教育、研修
- (2) サービスの技術革新

7 利用者

- (1) サービス選択の支援
- (2) サービスに関する情報
- (3) 利用時の苦情
- (4) 利用者の自己責任、モラル

8 制度の持続可能性

- (1) 財政制約
- (2) コストの増大を制御するシステム